

実施報告書

HT25170

【プログラム名】学校の安全・安心をチェックしよう  
～健康で楽しく勉強し遊べる学校って?～



開催日：2013年7月27日(土)  
2013年10月12日(土)

実施機関：立命館大学衣笠総合研究機構  
(実施場所) (松原北小学校:7月27日)  
(坂の上小学校:10月12日)

実施代表者：白石陽子  
(所属・職名) (立命館大学・衣笠総合研究機構)

受講生：小学校37名  
(松原北小10名、坂の上小27名)

関連URL：

【実施内容】

【プログラムの留意・工夫点】

1. 対象が小学生であるため、集中力及び関心が持続するよう2時間～2時間半程度で収まるようにした。
2. 科学や科研費に関する説明や安全に関する講義の部分については、講義に終わるのではなく、クイズ形式で問いかけて始めるなど、児童が内容に関心を持つようにした。
3. 大学での講義の雰囲気を出すように、入口や前面に「立命館大学〇〇小学校キャンパス」といったポスターを貼るとともに、積極的に子供たちの意見を求め、それをもとに議論を展開していった。

【スケジュール】

8:30-9:00 準備

9:00-11:40

1. 開校式(20分)

①校長及び実施者あいさつ ②オリエンテーション ③科研費の説明

2. 講義「安全ってなあに」講師:白石陽子(40分)

3. ワークショップ(グループワーク)

①ガイダンス(20分) ②学校安全診断「学校の安全をチェックしよう!」(30分) ③調査結果のまとめ(30分)

④各グループの報告(20分) ※随時トイレ休憩を入れる

4. 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)、記念撮影(20分)

12:00 終了・解散

【事務局との協力体制】

学内での広報や各種事務手続きを全面的にご担当いただいた。具体的には、広報用のポスターの作成や配布資料の手配や送付など行うとともに、参加児童の保険手続き等を行っていただいた。

【広報活動】

事務局が作成したポスターを学内等に掲示及び配布した。また、安全なまちづくりを進めている自治体担当者及び教育委員会に対して取組内容を説明し、協力を依頼した。その結果、教育委員会、小学校PTA及び地域組織等が非常に関心をもってくださり、参加者募集等を全面的に行ってくださいました。

【安全への配慮】

参加者は、全員活動保険に加入する。また、事前に会場となる小学校にお伺いし、校長と危険個所の有無などについて確認するとともに、留意すべき安全事項等について打ち合わせをおこなった。当日は、実施協力者が児童の安全探検をしている際に見回るとともに、同プログラムに関心をもってくださった教育委員会や行政担当者、校長、担当教員、地域の方なども目を配っていただいた。

【今後の発展性】

6年生が次年度に進学する中学校において中学生とともに実施することにより、より高レベルの取組が可能になるのではないかと期待される。また、今回の経験をもとに6年生が低学年の児童をリードして安全マップづくりを行えば、低学年にとってもよい学びの機会となる。

〔実施の様子〕

1. 挨拶・説明・講義

挨拶のあと、研究テーマについて講義を受け、調査の進め方を確認します



2. ワークショップ

①まず、学校内を探検し、安全な点、危険な点などを探します。



② 続いて、グループごとに調査結果を模造紙にまとめます。



③グループごとにまとめた内容を報告し、みんなで「なぜ、安全でないか」「どうして安全だとおもったのか」について議論します。



〔課題〕

今後の課題としては、実施する日程の調整である。夏休みに実施した小学校では、塾の夏期講習などと重なったため参加できなかった児童が複数いた。また、学校の補修工事と重なり、一部立ち入り禁止となった。

また、今回は、危ない箇所や安全な箇所の写真を撮ってもらうため、グループに1台のカメラ及び写真を印刷するためのプリンター(1台)が必要であったが、本プログラムでの支出ができなかったため、学校や行政にお借りしなくてはならなかった点は課題であった。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】           2名          

【事務担当者】

齊藤富一            研究部   リサーチオフィス(衣笠)